

緑のセンターだより

No.296 令和5年11月1日発行

発行元：(公財)札幌市公園緑化協会 豊平公園緑のセンター

ブタナ（豚菜）

キク科エゾコウゾリナ属

Hypochaeris radicata

ブタナはキク科エゾコウゾリナ属のヨーロッパ原産の多年草で、日本では外来種（帰化植物）として全国に分布しています。

葉は根生（ロゼット）し、葉だけを見るとぺったりと地面に張り付くようにして生えます。葉はタンポポの葉のように分裂し、両面に黄褐色の硬い毛が密生します。5月ごろから10月に花茎を高さ50cm程度まで伸ばし、上部で数本に枝分かれた先に花径3～4cmほどのタンポポのような花をつけます。花後は綿毛をつけた種子となります。



和名の由来は1933年に札幌で確認され、外見がタンポポによく似ていることから“タンポポモドキ”と名前がつけられましたが、1934年に神戸でも生育が確認されました。この時、フランスでは豚のエサにできるほど生育することから「salade de porc（豚のサラダ）」と呼ばれていたため、それを直訳して“ブタナ”と名前がつき、神戸での名前の方が全国に広がりました。

ちなみに英語名は Catsear（葉にある沢山の毛が猫の耳を想像させるから）、又は Flatweed（葉がロゼット状で平らになっているから）で、名前の付け方がイギリスの方が植物の形状に合っていて、かわいらしく感じます。



↑左がブタナ、右がタンポポ

主な生育場所は道端、野原、空き地、庭先、草丈の低い草地、畑、芝地、果樹園、牧草地など日当たりが良く明るく乾いた環境によく見られます。ほかの植物と競合してやぶのような地際に太陽光が当たらない場所、日当たりの悪いところはほとんど見られません。草も生えないような土地に最初の植物として生育しています。

外来種として広く分布するブタナは、タンポポと同じく直根を地中深く伸ばしています。葉の形態が常にロゼット状で地面に張り付いているため、刈り払い機で草刈りしてもブタナの葉が多く残ってしまううえ、踏まれることにも強く、子どもの遊び場になる空き地、芝地などで群生化しやすい植物です。増えるときは一気に増えるのですが、耕起には弱いいため、畑で問題となることはまれです。タンポポに比べ駆除は容易ですが、繁殖が旺盛で手を抜くと群落を作ります。

ブタナの類似種には、「ヒメブタナ」があり、同じくヨーロッパ原産で、全体的に小型で毛も少ないとされていますが、ブタナとの交雑種もあり、区分けを難しくしています。

参考文献：「日本の野生植物（草本）」平凡社、「農村の草花“ブタナ”」農研機構、

「侵入生物データベース：ブタナ」国立環境研究所、

「地球の息吹“海外の魅力的なワイルドフラワー”」北海道大学理学研究科 岡田尚武 他

11月の園芸作業

ここに記載した以外の作業も沢山ありますので
ご不明な点は緑の相談までお気軽にお問合せください。

緑の相談受付 10:00～12:00 13:00～16:00

★豊平公園 811-9370 月曜以外毎日（月祝日の場合は、翌平日が休み）
★百合が原公園（冬期間なし）
★平岡樹芸センター 883-2891 毎週 水、土（11月4日まで、冬期間なし）

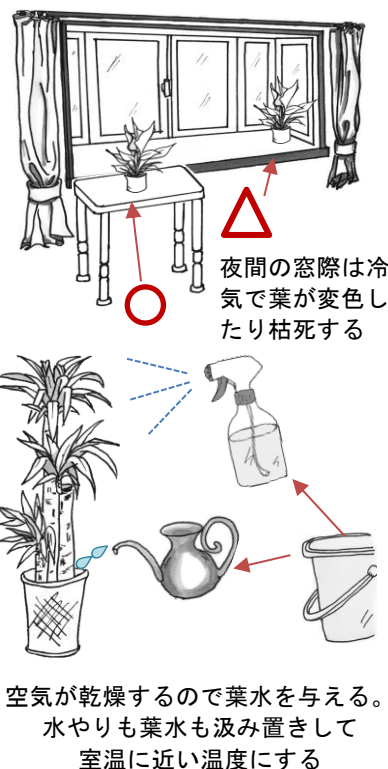
		作 業 時 期			作業内容
		上旬	中旬	下旬	
屋外園芸	庭木	冬囲い			高木（イチイ・マツ類）は雪吊り、低木は雪折れ防止の冬囲い 冬囲いの防風ネット・コモ等の合わせ面は南側にしておくが良い
	果樹	剪 定			ブドウは落葉後に剪定
		冬囲い			低木果樹は雪折れ防止の冬囲い
	花木	剪定・冬囲い			バラは冬囲いのできる高さに剪定。フジ・ボタン・ボケなどは花芽が残るように剪定 耐寒性が強くない花木（ボタン・サツキ等）は防風ネットやコモ掛けも行う
	野菜	菜園片付け			野菜の茎葉残滓と手竹等の清掃・整理
		来年準備			来春への準備。堆肥散布・剣先スコップ等で耕起反転
	花壇	球根植			植え遅れたチューリップ・スイセン等の植え付け
		植替え			ユリの球根は2～3年毎に植替え（中旬くらいまで）
	芝生	清掃			芝生の上に落ちた枯葉やゴミの清掃
		防除		根雪前に殺菌剤を散布し、雪腐れ病防除	
室内園芸	鉢花	置き場所			窓際の明るい場所で管理。窓からの冷気に注意
		温度管理			シクラメンの温度管理に注意する。日中20℃前後、夜間12～15℃程度
		短日処理			12月の開花に向け、ポインセチアの短日処理を継続
	洋ラン	置き場所			シンビジウムは10～20℃の明るい室内で管理し、基本5℃以上を保つ
		病虫害			アブラムシ、カイガラムシなど害虫に注意
		多肉植物	管 理		
	短日処理			シャコバサボテン・カランコエは短日処理の継続	
	観葉植物	整枝・剪定			伸びすぎた枝・ツルを適当な長さに剪定
		繁 殖			剪定枝を利用した挿し木（適期では無いが可能）



Q 冬越しのため鉢物を室内に入れました。今後気をつけるべきことを教えてください。

A これからは室内に暖房が入り乾燥する時期になります。また、冬の札幌は晴天率も下がるため日光不足になります。植物ごとに違いはありますが、おおよそ以下のことに注意して管理してください。

- ① 日当たり：冬場は曇天や降雪のため光が不足します。なるべく日当たりのよい場所に置きましょう。時々鉢を回して全体に日を当ててください。出窓や窓際は夜間低温になるので注意が必要です。
- ② 温度・湿度：リビングなど暖房の入っている部屋の場合、乾燥に注意が必要です。状況に応じて葉水などを行い、湿度を保ちましょう。また、直接温風などが当たらないように置き場所にも気をつけます。温度が低めの部屋に置いた場合は、成長に合わせて加減した水やりを心掛けます。植物ごとの生育適温、特に最低生育温度について知っておくとよいでしょう。
- ③ 水やり：室内が乾燥している場合、鉢の乾きも早いので土の様子を観察して水やりを行います。直接水道からの水は冷たすぎるので使わず、一晩汲み置きするとよいでしょう。
- ④ 肥料：観葉植物などの成長を続けているもの、シクラメンやゼラニウムなどの開花を続ける植物には控えめに肥料を与えます。それ以外のものには肥料を与えません。植物ごとに違うので確認してください。



展示会 情報

豊平公園

洋ラン展
11/7（火）～11/12（日）
最終日16：00まで

シクラメン展
11/21（火）～11/26（日）

ハンドメイド・クリスマス展
12/5（火）～12/17（日）



秋のサルビア展～鮮やかな秋の装い～
10/11（水）～11/5（日）

クリスマスディスプレイ展
～個性あふれるナチュラルリース～
11/7日（火）～12/17（日）

百合が原公園

野草園のシモバシラ



シモバシラの花（10月）

11月下旬頃、野草園では多年草のシモバシラの株元に霜柱を見ることができるかもしれません。この現象が見られる条件は、初冬、晴天の早朝、気温-1℃～-3℃、積雪がなく地面が乾燥した状態であることです。条件がそろうラッキーチャンスを狙って、豊平公園の野草園で「シモバシラ」を確かめてみてはいかがでしょうか。



〒062-0905
豊平区豊平5条13丁目
TEL 011-811-6568

地下鉄東豊線
「豊平公園」駅下車
1番出口徒歩1分

クリスマスディスプレイ展



ツバキ '初刈'

屋外は紅葉のあたたかな色彩から、白い雪が舞い始める季節へと変化していきます。

百合が原緑のセンターでは、一足早いクリスマス気分が楽しめる【クリスマスディスプレイ展】を開催します。公園内の植物を使った、ぬくもりのあるリースやスワッグなどで会場をディスプレイします。隣の大温室では早咲きのツバキやサザンカ、「ダリアの王様」コウテイダリアも開花を始め、温室内も秋から冬へと移り変わります。



百合が原公園

〒002-8082
北区百合が原公園210
TEL 011-772-3511

JR学園都市線
「百合が原」駅下車
徒歩7～10分

11月5日まで開園



11月に入り樹芸センターの紅葉はますます鮮やかさを増していきます。ノムラモミジ並木や日本庭園の紅葉をお楽しみください。また、紅葉シーズン中はキッチンカーによる軽食の販売もあります。

今年度は月曜日通常休園となります。



〒004-0874
清田区平岡4条3丁目
TEL 011-883-2891

地下鉄東西線
「大谷地駅」から
中央バス（大69）
「平岡4条2丁目」下車
徒歩1分

イベント情報（11月）



豊平公園緑のセンター

☎ (011) 811-6568

<https://www.sapporo-park.or.jp/toyohira/>

【園芸教室・クラフト講習会】	開催日	時間	教材費	定員	申込開始
コチョウラン植え替え講習会	11月3日(金祝)	9:00~16:00 完全時間予約制	実費 (千~二千元程度)	24名	定員間近
ナチュラルリースを作ろう	11月10日(金)	13:30~	2,000円	8名	定員になりました
ナチュラルリースを作ろう	11月11日(土)	13:30~	2,000円	8名	定員になりました
洋ランの冬の管理	11月11日(土)	13:30~	300円	20名	受付中
ナチュラルクリスマスガーランド作り	11月18日(土)	10:00~	3,800円	10名	11/11(土)~
ナチュラルクリスマスガーランド作り	11月18日(土)	13:30~	3,800円	10名	11/11(土)~
シクラメン他冬の鉢花の室内管理	11月25日(土)	13:30~	300円	20名	11/11(土)~

洋ラン展

11/7((火)) ~ 11/12((日))

最終日16時まで

今年で42回目となる洋ラン展！！

豊平公園緑のセンター1階アトリウムは コチョウラン、カトレア、デンドロビウムなど豪華で鮮やかな洋ランの色と香りに満たされます。期間中は洋ランの販売もあります。また、11日の園芸教室「洋ランの冬の管理」（13：30～ 受講料300円 先着20名）は申し込み受付中です。

ぜひ豊平公園緑のセンターで洋ランの魅力をご堪能ください。



シクラメン展

11/21((火)) ~ 11/26((日))



あちらこちらでシクラメンが見られる季節となりました。

シクラメンは球根が丸いことからギリシャ語で「丸い、回転する」を意味する「Cycle」が語源とされています。色とりどりのシクラメンの展示販売となります。ぜひお気に入りの一鉢を探してみてください。

また25日には園芸教室「シクラメン他冬の鉢花の室内管理」（13：30～ 受講料300円 申込受付11/11（土）より 先着20名）を開催いたします。ぜひ皆様のお越しをお待ちしております。